

不正に対する  
新型コロナウイルスの影響  
ベンチマークレポート(評価報告書)

## 目次

前書き .....	3
新型コロナウイルス (COVID-19) は 不正全体の発生頻度にどのような影響を及ぼしているか .....	4
新型コロナウイルス (COVID-19) は 個々の不正リスクにどのような影響を及ぼしているか .....	6
新型コロナウイルス (COVID-19) は 組織の不正対策プログラムにどのような影響を及ぼしているか .....	8
新型コロナウイルス (COVID-19) は 不正との闘いにどのような影響を及ぼしているか .....	10
調査の方法と回答者の統計 .....	14



## 前書き

新型コロナウイルス (COVID-19) は、ビジネス環境に数え切れないほどの影響を与えています。出張等の禁止、従業員のリモート業務・在宅勤務、(IT 等の) 技術への依存や、経済の不確実性の高まりが、世界中の多くの組織で現実のものとなっています。これらを含めた様々な障害が、物流や業務における脅威となり、同時に、不正や詐欺を働く動機・機会・正当化にもなっています。

不正対策の取り組みにこの世界的なパンデミック (感染症の大流行) が及ぼす影響を明らかにするために、ACFE では、このような環境において不正リスクや不正対策プログラムがどのように変化しているかについて、一連のベンチマーク調査を実施しました。本書は、2020 年 4 月下旬から 5 月中旬に実施した調査に対する最初の報告書です。2020 年 5 月から 2021 年 5 月までの 12 か月間の変化についても予測しています。

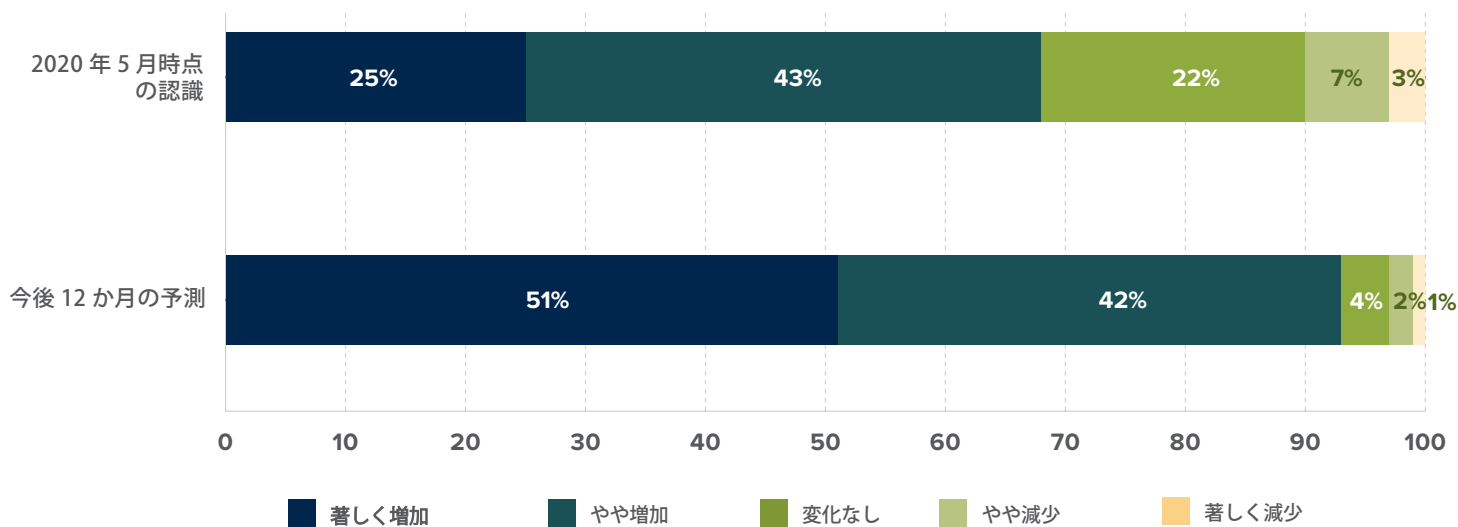
この前例のない大変な時期に、時間をかけて現在と将来に関する見解をお寄せいただいた ACFE 会員の皆様に深く感謝いたします。この報告書を通じて、新型コロナウイルスにより不正リスクが高まっている状況と、不正の被害を防ぐための警戒の重要性をご認識いただけましたら幸いです。

## 新型コロナウイルス (COVID-19) は不正全体の発生頻度にどのような影響を及ぼしているか

新型コロナウイルス発生後の不正や詐欺の全体的な発生頻度について尋ねました。回答者の 68% は 2020 年 5 月の時点ですでに不正の増加を認識しており、さらに回答者の 4 人に 1 人は著しく増加していると答えています。

将来に目を向けると、不正対策の専門家たちは、不正の発生頻度はさらに増えると予測しています。回答者のほぼ全員 (93%) が来年 2021 年 5 月には不正の発生頻度は増えていると答えているだけでなく、回答者の半数は著しく増加すると予測しています。

図 1. 不正全体の発生頻度の変化



## 新型コロナウイルス (COVID-19) は 個々の不正リスクにどのような影響を及ぼしているか

全体の発生頻度だけでなく、10種類の不正について、現在の認識と将来の予測を尋ねました。不正対策の専門家たちは、すべての不正リスクがすでに高まっていると認識しており、2021年5月にはさらに高まると予測しています。

図2. に示されているように、新型コロナウイルスの大流行により最も増加した脅威はサイバー不正です。この不正には、ビジネスメール詐欺 (BEC; いわゆる役員なりすまし詐欺・取引先なりすまし詐欺) や、ハッキング (情報端末の乗っ取りや機密情報の搾取など)、ランサムウェア (端末やファイルを使えないようにして身代金を要求する不正なソフトウェア)、マルウェア (端末や利用者に有害となる不正なソフトウェア)などが含まれます。回答者の大多数 (81%) がすでにこの種類の不正の増加を認識しており、また、回答者の93%がこれからの12か月間でさらに増加すると予測しています。

また、販売業者による不正も、新型コロナウイルスによる影響が大きいリスクとして最上位に位置しています。たとえば、価格のつり上げ、商品の不実表示 (虚偽記載)、過大請求などが該当します。これらの不正は、回答者の68%がすでに増加していると認識しており、同86%が今後1年間でさらに増加すると予測しています。これからの1年間で増加すると予測される不正・詐欺には、3位にクレジットカードやモバイル決済での不正・詐欺などを示す支払における不正、4位に医療における不正が続きました。

図2. 不正リスクの種類ごとの変化



## 新型コロナウイルス (COVID-19) は 組織の不正対策プログラムにどのような影響を及ぼしているか

### 不正対策プログラムへの投資

2021年5月までの1年間に組織が行う不正対策プログラムと不正対策計画への投資見通しについて、回答者は概ね楽観的です。図3.に示されているように、調査にご協力いただいた不正対策の専門家の半数は、今後12か月間で予算が増加すると予測しており、回答者の15%は大幅に増加すると予測しています。一方で、回答者の8%は予算が削減されると予測しており、同3%は大幅に削減されると予測しています。

### 不正対策への人員配置

調査時点では、回答者の大部分(62%)は、2021年5月までに不正対策を担当する人員に増減はないと予測し、回答者の4分の1以上は人員が増強されると予測しています。しかしながら、回答者の10%は来年までに人員削減が行われると予測しており、回答者の2%は大幅に削減されると予測しています。



図 3. 今後 12 か月間の不正対策プログラムへの投資に関する変化の予測

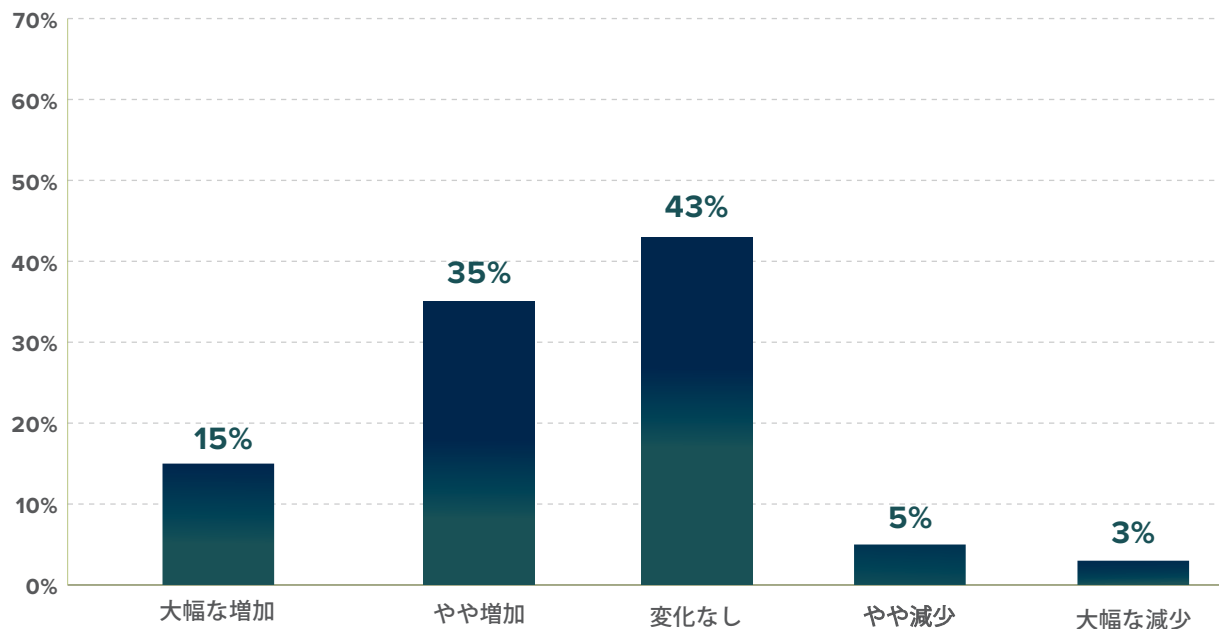
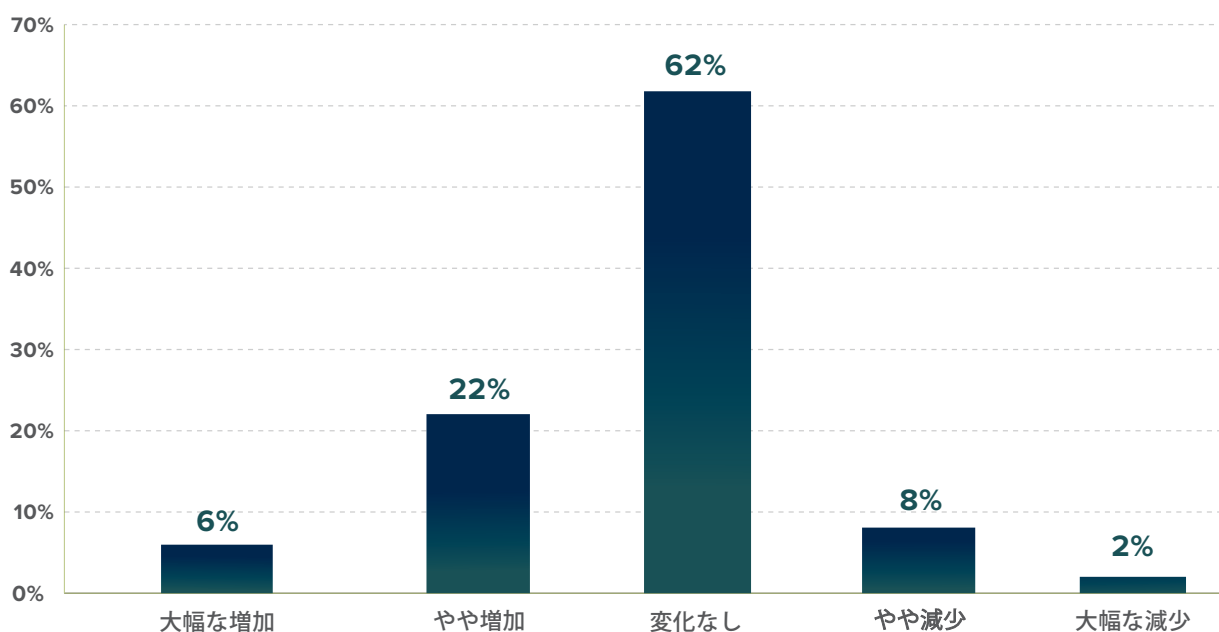


図 4. 今後 12 か月間の不正対策プログラムへの人員配置に関する変化の予測



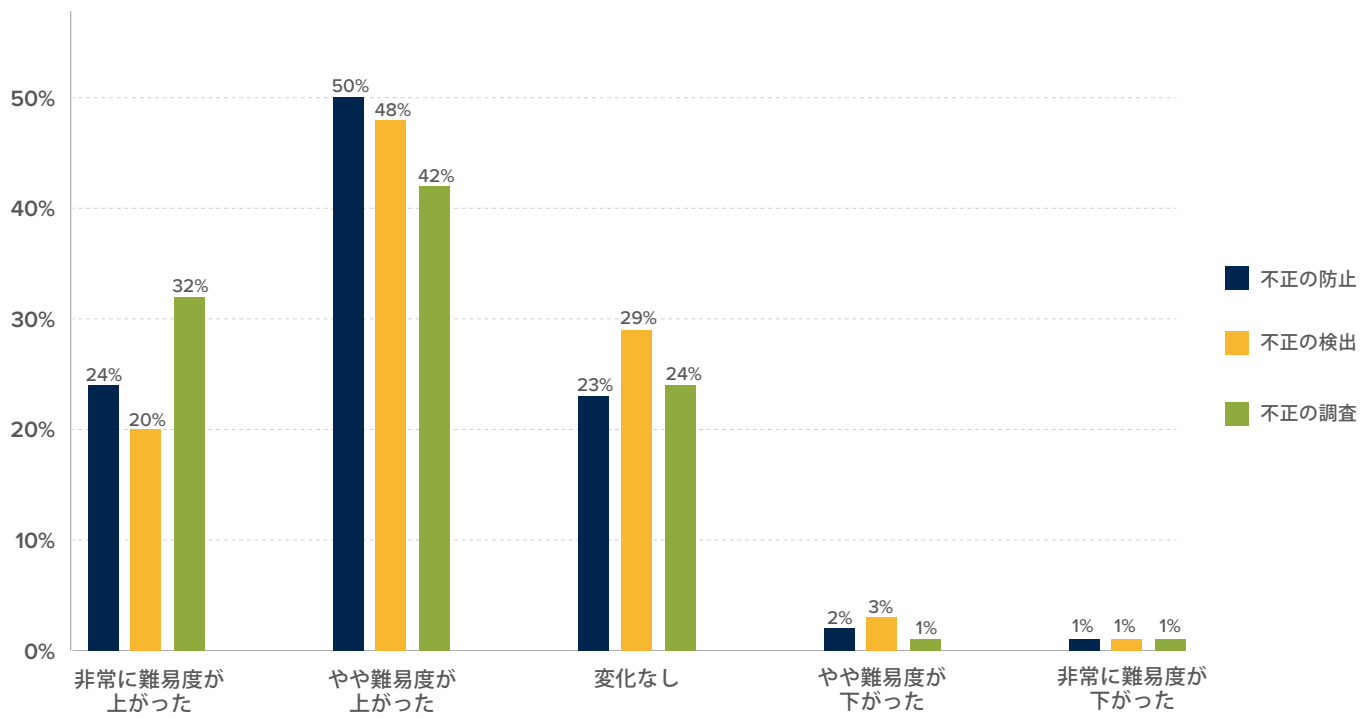


## 新型コロナウイルス (COVID-19) は不正との闘いにどのような影響を及ぼしているか

### 不正の防止・検出・調査の難易度

新型コロナウイルスが、不正の防止、検出、調査の難易度にどのような影響を及ぼしているかを尋ねました。図 5. が示すように、不正対策の専門家たちは、現在の環境では、これら 3 つの活動いずれも難易度が上がっていると回答しています。不正の防止と不正の調査については、4 人中約 3 人がより困難になったと回答しており、それぞれ全体の 24% と 32% が、非常に難易度が上がったと回答しています。同様に、不正対策の専門家の 68% は、世界的な感染症の大流行により、不正の検出がより困難になったと回答しています。

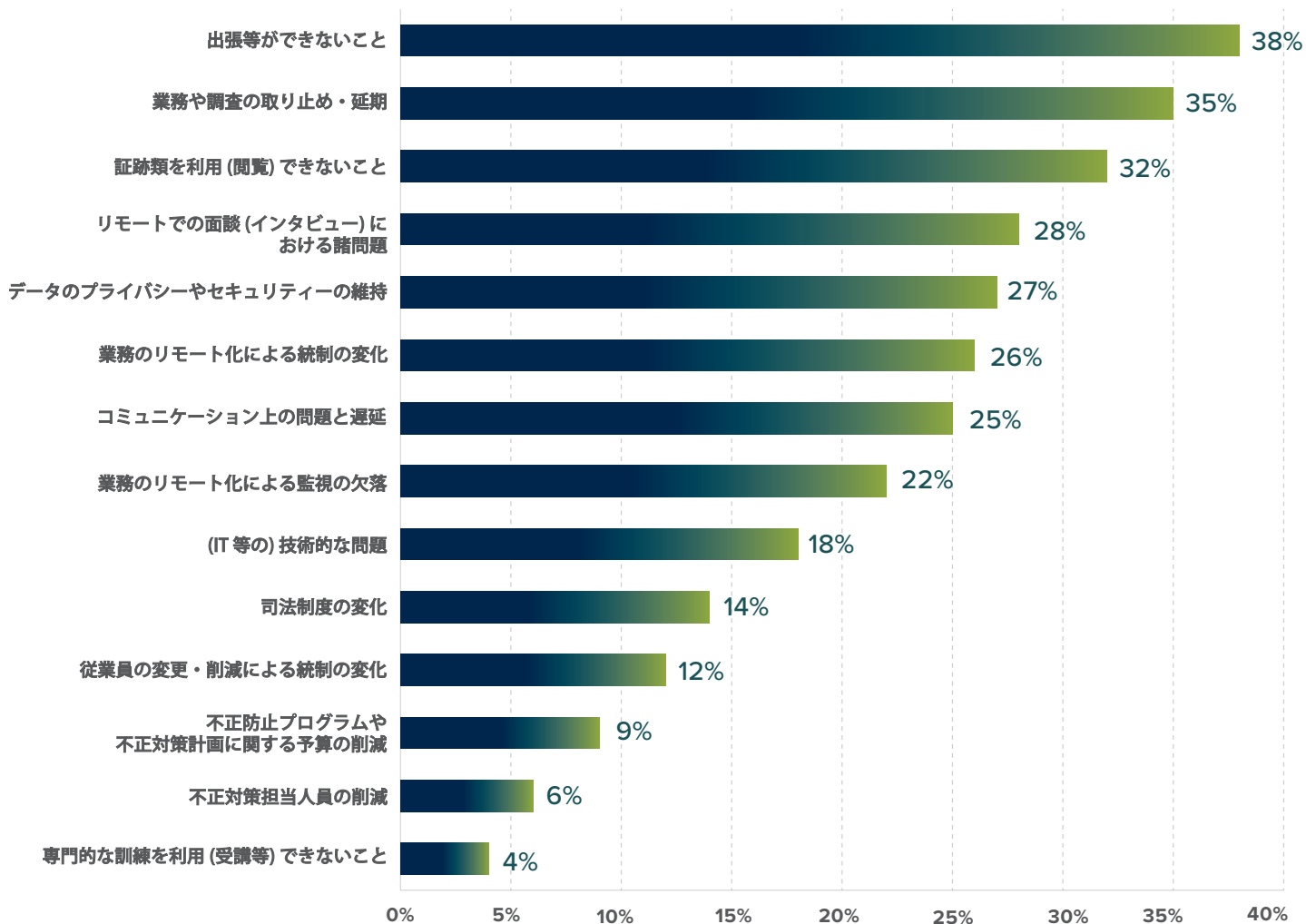
図 5. 不正対策の取り組みの難易度の変化



## 不正との闘いにおける一般的な課題

パンデミックの最中で不正との闘いをより難しくしている具体的な課題を把握するために、新型コロナウイルスにより影響を受けた最も大きな課題を3つ挙げてもらいました。結果は図6.の通りです。現時点で不正対策の専門家たちが直面している一般的な問題として挙げられたのは、出張等ができないこと、業務や調査の取り止め・延期が行われていること、証拠類を利用(閲覧)できなくなっていることでした。

図 6. 不正との闘いにおいて、新型コロナウイルス (COVID-19) の影響を受けた最も大きな問題



## 調査の方法と回答者の統計

2020年4月に、ACFEの会員から無作為に抽出した77,198名に対して、匿名で13問の調査を依頼しました。1,851名から本報告書の目的に合う有効回答が得られました。調査結果はすべてこれらの回答に基づいています。

### 業種

回答者に勤務先の業種を尋ねました。回答者の約4分の1が政府・行政で、21%が銀行・金融サービス、16%が専門サービス、残りの39%はそれ以外の業界に分散しています。

図7. 回答者の勤務先の業種



図 8. 回答者の勤務先の地域



### 地域

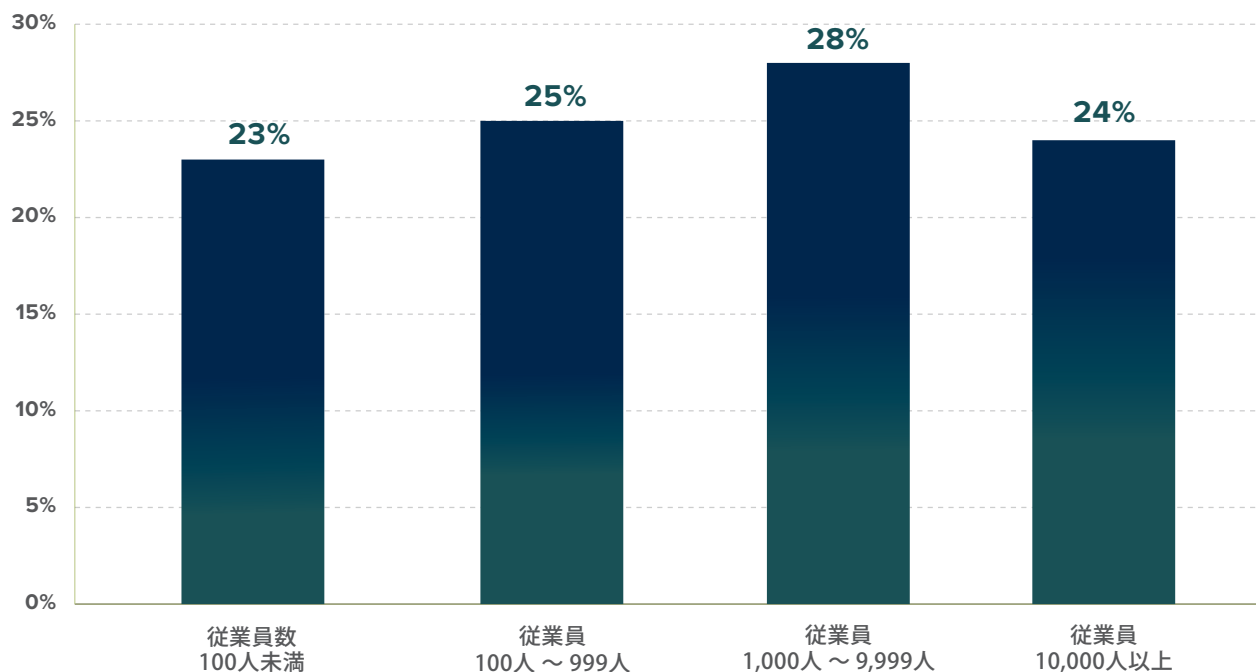
回答者は地理的に分散しており、新型コロナウイルスによる不正への影響について、グローバルな見解を示しています。回答者の半数以上 (54%) は米国またはカナダに在住しています。サハラ以南のアフリカには 13%、西欧、アジア・太平洋、南アメリカがそれぞれ 7%、中東+北アフリカ、中南米+カリブ海地域がそれぞれ 5% でした。



## 組織の規模

回答者の勤務先の組織の規模については、おおむね均等に分かれていました。  
図9.に示されているように、勤務先の規模は、4つの規模に対しておよそ4分の1ずつに分かれました。

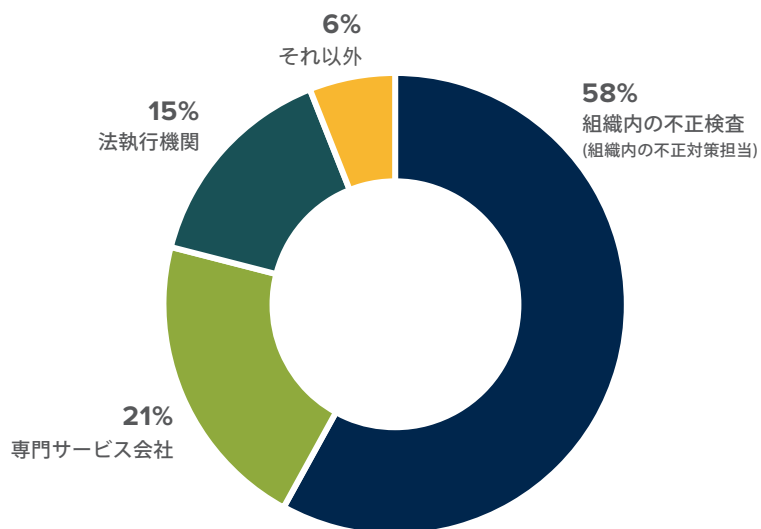
図9. 回答者の組織の規模



## 職種

回答者の半数以上 (58%) が、単独の組織・機関において、社内の不正関連の業務を行っています。一方、21% は専門サービス会社でクライアントの組織に代わって不正関連の業務を行い、15% は法執行機関で機関の権限に基づいて他者の不正や詐欺の調査を行っています。

図10. 回答者の職種



# ACFE について

ACFE は、1988 年に Joseph T. Wells 博士 (CFE, US CPA) により設立されました。世界最大の不正対策機関として、最先端の不正対策の訓練と教育を提供しています。150 を超える国々にいる 85,000 を超える会員とともに、組織内で行われうる不正を減らし、それらに一層効果的に対処できるように、様々な訓練やリソース (教材等) を提供しています。

不正対策の訓練から得られる効果は、広範囲に及びます。不正対策のための最善の方法は、その取り組みを行う担当者に不正の防止・検知・調査を効果的に行う方法を教育することです。ACFE では、より効果的に不正対策を行うためのツールと、世界中の不正対策に取り組む人々に対する教育・結束・支援を通じて、全世界で行われている業務上の不正を減らし、また、不正対策の専門家としての誠実さと客観性に対する信頼を高めています。ACFE では、不正対策の専門家として認定を受ける機会を会員に提供しています。不正の防止と検出の専門家であることを示す公認不正検査士 (CFE; Certified Fraud Examiner) 資格は、世界中の企業・政府機関で活用されています。

## 会員制度

不正対策の取り組みが必要となる、世界規模の不正対策の知識とツールをご利用いただけます。ACFE の会員には、会計、内部監査、不正調査、法執行官、弁護士、経営者、リスクやコンプライアンスの専門家・教育者が所属しており、すべての会員が、専門的な訓練、教育用ツール、リソース (教材等) をご利用いただけます。世界各国から自らの業務で直面する課題を解決するために ACFE を利用するようになっていきます。長年にわたり不正行為の防止や検出に取り組まれている方にも、不正や詐欺についてもっと学びたい方にも、ACFE は、不正対策の専門家たちが自らの目的を達成するために必要不可欠となるツールとリソースを提供します。

## 公認不正検査士 (CFE; Certified Fraud Examiner)

公認不正検査士 (CFE; Certified Fraud Examiner) は、不正対策における専門家を示す資格であり、資格取得者は組織内の不正対策に必要な「財務取引と不正スキーム」「法律」「調査」「不正の防止と抑止」の 4 つの重要な分野の知識を有しています。ACFE では、次のような取り組みを行っています。

- ・ CFE 資格試験を通じて、不正対策に必要な知識を習得させています。
- ・ CFE には、不正対策の専門家として厳しく定められた職業倫理規範を遵守させています。
- ・ ACFE は、企業、政府、学術機関に対して、不正対策の専門家の代表としての役割を果たしています。
- ・ CFE が、不正対策の専門家として、誠実であり、客観的であり、専門的であるという信頼を得られるように取り組み続けます。

より詳しい情報は、  
ACFE.com (本部)[英語] / ACFE.jp (ACFE JAPAN)[日本語] をご覧ください。

【日本語訳作成】

一般社団法人 日本公認不正検査士協会 (ACFE JAPAN)  
〒101-0062  
東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館本店ビル 5 階  
TEL 03-5296-8338 FAX 03-5296-8337 Web <https://ACFE.jp>



GLOBAL HEADQUARTERS • THE GREGOR BUILDING  
716 West Ave • Austin, TX 78701-2727 • USA  
Phone: (800) 245-3321 / +1 (512) 478-9000  
Web: [ACFE.com](https://ACFE.com) • [info@ACFE.com](mailto:info@ACFE.com)